

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立蒲生中学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・蒲生中学校で発生するいじめ状況についてよくわかった。生徒のいじめの認知する力が高くなっており、解消することでソーシャルスキルを高めてほしい。
- ・SNSのトラブルが多く、スマートフォンの使い方についてもルール作りに生徒会を中心に取り組みを継続してほしい。
- ・「学校のあゆみ」等の結果から、大阪市・大阪府平均よりも学力が上回っていることは理解できる。課題がある教科、若手教員について、「学力向上支援チーム事業」を活用するなどして授業改善に引き続き取り組んでもらいたい。

2 年度目標ごとの評価

| |
|--|
| 年度目標：安全・安心な教育の推進 |
| 学校の自己評価は妥当である。 生徒アンケート・保護者アンケート、各種テスト結果から学校の教職員の意見等を総括的にとらえて判断すると、評価は妥当であると考えられる。 学校内に不登校生徒の居場所がある意義は大変大きいですが、不登校生徒が依然として総数が多い。不登校の改善できる取り組みを継続してもらいたい。 |
| 年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上 |
| 学校の自己評価は妥当である。 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較した結果、ほとんどの学年教科で府平均を上回り、目標をほぼ達成できた。学力が比較的高いと思われる生徒に対して、一層の学力向上に取り組んでほしい。体力テストでは、体力テストの種目を毎学期3種目以上取り組んだ結果、全国の平均を男女とも7項目以上上回ることができた。 |
| 年度目標：学びを支える教育環境の充実 |
| 学校の自己評価は妥当である。 今年度のICT指標については達成することができた。心の天気や学習者用端末の活用方法など、教員研修を深めていく必要がある。年次休暇の取得しやすい環境を整え、教職員のワークライフバランスを整えてもらいたい。部活動との併用で大変なことは理解している。 |

3 今後の学校運営についての意見

- 不登校生徒には、SSRやICTの活用に取り組んでもらいたい。SNSによるいじめの対応について、引き続き取り組んでもらいたい。
- スマホの正しい使い方について、一層の指導の充実を図ってほしい。SNSやスマートフォンの使い方について子どもへの指導やルールの周知など継続的に指導をお願いしたい。
- 教育委員会の「学力向上支援チーム事業」を活用して、授業研究を一層活発に行い、引き続き子どもたちの学力向上に取り組んでもらいたい。